

鹿屋市地域防災計画の見直し
東日本大震災を受け、国の防災基本計画及び県の地域防災計画の修正を受けて、通信広報体制の整備や、東日本大震災を教訓に津波対策の項目を地域防災計画に追加することとしました。



▲防災会議風景

鹿屋市防災会議

5月15日、市役所7階大会議室で「平成24年度第1回鹿屋市防災会議」を開催しました。

この会議は、行政・消防・警察・電気・通信・医療・看護・建設団体・町内会連絡協議会・婦人団体連絡協議会などの関係機関・団体の長が委員となり構成されています。

会議では、本格的な雨期や台風などによる災害時期を前に、災害時における関係機関相互の協力体制や情報共有体制などの確認や地域防災計画の見直しなど防災対策に関する協議を行いました。

鹿屋市地域防災計画の見直し

○鹿屋市水防計画の見直し
水防法の改正に伴う津波に関する文言の追加や県の水防計画における下谷川避難判断等の基準水位が引き上げられたことに伴い、水防計画の見直しを行いました。

○今後の取組

市が指定する57個所の避難所について、土砂災害警戒区域など危険区域内の有無や施設の耐震性などから見直しを進め、今年中に第2回鹿屋市防災会議を開催し、修正追加することとしています。

鹿屋市総合防災訓練
5月27日、串良町有里の大塚原前橋付近河川敷で「鹿屋市総合防災訓練」を実施しました。



▲防災訓練風景

この訓練は、鹿屋市地域防災計画に基づき、各種災害の発生に際し、関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら情報伝達、救出・救護、避難誘導、水防工法などの災害応急対策が迅速かつ適切に対応できることを目的とした訓練です。

訓練には、市の関係部署の他に、大隅河川国道事務所海上自衛隊、鹿屋警察署、鹿屋市消防団などの関係機関・団体に加え、有里地区住民など合わせて12団体約250



▲生き埋め者救出訓練

人が参加しました。訓練内容は大雨による河川の氾濫と土砂災害が発生したことに伴う、市の災害対策本部の設置をはじめ、関係部署の役割や相互の連絡体制等の確認を行いました。

また、関係機関として鹿児島県防災航空センターの消防防災ヘリによる孤立者救出訓練や海上自衛隊による生き埋め者救出訓練、中央消防署による河川転落者救助訓練のほか、鹿屋市消防団による水防工法訓練などが実施されました。訓練参加者は、災害に対する応急対策への理解を深めていました。

災害に備えて

これから梅雨や台風の襲来等により、土砂崩れや河川の氾濫など災害が発生しやすい時期を迎えます。先の東日本大震災や、奄美大島の豪雨災害など、災害はいつ発生するか分かりません。日ごろから災害に對し備えておきましょう。

災害の発生しやすい時期を迎えるにあたり、市では鹿屋市防災会議を開催し、関係機関相互の協力体制の確認や東日本大震災を踏まえた地域防災計画の見直しなどを行いました。

また、関係機関・団体との連絡体制や救急・救護などの応急対策について確認を行う鹿屋市総合防災訓練も実施しました。

平成24年度から新たに自主防災組織の育成、強化を目的として、自主防災組織が行う防災訓練等の活動費の助成を行う「鹿屋市自ら守る地域防災推進事業」を実施します。ぜひ、ご活用ください。

【問い合わせ】

市安全安心課
☎0994-31-1124

防災情報を活用しましょう

FMかのや (FM7.2MHz)

○台風の接近や大雨による通行止などの災害に関する情報や防災に関する情報を市民の皆さんに提供しています。緊急を要する場合は、市役所からFMかのやの放送に割り込む緊急割込放送でお知らせします。災害時においてラジオ放送は、貴重な情報源になります。災害時に限らずFMかのやの放送をお聞きください。

○防災情報の提供を平常時に行っています。
毎月第2・第4水曜日
13時30分

災害用伝言ダイヤル(177)

災害発生時は、被災地への通信が集中し、つながりにくい状況になります。NTTが提供するこのサービスは、伝言を録音、再生することができます。災害時の安否状況を伝える手段となります。事前にサービスの活用について調べておきましょう。

週間天気予報

週間天気予報は、電話でも聞くことができます。
☎099-2260177

緊急速報メールサービス

市では、現在行っている広報手段の一つとして、緊急情報を、いち早く市民の皆さんにお知らせするために、一部の携帯電話会社が提供しているサービスを活用し、メール配信を行うことがあります。

- 配信する緊急情報
- その他市民の生命に関わる情報 など
- メールサービスの特徴
- 配信エリア＝市内全域
- 通信料＝無料
- その他＝受信すると専用着信音流れ、内容が画面に表示されます。

